

そうべつ議会だよ



壮瞥小学校 運動会

■ 第2回定例会のあらまし	2
■ 一般質問	4
■ 委員会レポート	6
■ 薫風	8

No. 86

□ 2022年8月 □



壮瞥町議会
ホームページ



壮瞥町議会
YouTube



壮瞥町議会
facebook

発行 / 壮瞥町議会

編集 / 議会広報特別委員会
(TEL 66-2121・FAX 66-7001)

定例会のあらまし

議案審議

マイナンバーカードの普及を重点的に進める!!

令和4年第2回定例会は、6月9日から10日までの2日間の会期で開催されました。2名の議員が一般質問を行い、町政を質しました。

令和4年度一般会計補正予算についてのほか、議案13件、報告2件、意見案1件を審議し、それぞれ可決しました。

第2回 定例会

令和4年度壮瞥町一般会計補正予算（第3号）について

5,537万1千円追加

補正後の予算総額

41億1,868万1千円

戸籍住民基本台帳費

829万8千円追加

質疑

マイナンバーカードを取得する必要性・メリットを、広く町民に周知することが、普及拡大に繋がるものと考えているが。

答弁

マイナンバーカードのメリットとして、本人確認書類となり、また、健康保険証として使用できた

り、マイナポイントをもらえる等のほか、転出の際に転出証明が不要で、転入の際にスムーズに手続き

ができた。自宅に居ながら確定申告が行えるなどが挙げられるので、丁寧に町民に周知し、普及拡大に努めたい。

質疑

マイナンバーカードを健康保険証として利用できる医療機関等の状況について。

答弁

西胆振近郊で概ね2割程度の医療機関等で利用可となっており、また、全道においても概ね2割程度で利用可となっている。

質疑

マイナンバーカード取得保有奨励金5百万円が計上されているが、

その内容は。

答弁

マイナンバーカードを取得した方（既に取得された方も対象）に、町内で使える2千円分の商品券の交付を予定している。

質疑

地域に赴いて、マイナンバーカードの普及拡大業務を行い、また、夜間のカード申請、交付業務を実施するため、会計年度任用職員報酬、時間外勤務手当も計上されているが、具体的な業務内容は。

答弁

地域やイベント会場に出向いて行うマイナンバーカードの普及啓発・申請・交付業務のほか、夜間や休日の申請・交付業務に会計年度任用職員だけでなく、職員も対

応に当たることを予定している。

持ち家住宅取得奨励交付金

230万円追加

質疑

持ち家住宅取得奨励交付金の実績及び今後の見通しについて。

答弁

令和3年度中に利用申込の希望があった2件と、令和4年度中の利用申込を2件と見込んで4件400万円の当初予算を計上したが、本年度の利用申込が現在までに4件となっており、さらに3件の利用の相談があったことから補正予算を計上したものである。



第2回定例会の様子

令和4年 第2回

近年の実績として、令和3年度は5件、令和2年度は3件、令和元年度は6件の利用があった。今後も定住促進のため、本制度を活用してもらいたく、また、必要に応じて補正予算等の対応をとっていきたい。

オロフレスキー場トイレ改修工事

70万円追加

質疑

増加しているキャンプ場利用者向けに、休止している屋外トイレを、温水洗浄便座に改修して再開することだが、夏季のみの利用再開ということか。

答弁

屋外トイレは、元々スキー客向



工事発注状況

令和4年3月から
令和4年5月まで
() 内は予定価格

- 道道洞爺湖登別線水道施設移設工事
11,660,000円(12,243,000円)
(有)堀口水道
- 壮瞥温泉地区水道施設整備工事
2,266,000円(2,376,000円)
(有)堀口水道
- ゆーあいの家脱衣所改修工事
1,078,000円(1,100,000円)
道栄建設(株)
- 来夢人の家泉源ポンプ取替工事
1,353,000円(1,355,750円)
(有)堀口水道
- 蟠溪ふれあいセンター屋根修繕工事
4,730,000円(4,950,000円)
(株)中山工務店
- 建部B団地2号棟物置改修工事
1,837,000円(1,925,000円)
(株)中山工務店
- ゆーあいの家温泉系統配管改修工事
2,805,000円(2,948,000円)
(有)堀口水道
- 電気機械計装設備更新工事(立香地区)
2,266,000円(2,365,000円)
(有)堀口水道
- 水道メーター器取替その1工事
3,553,000円(3,740,000円)
(有)堀口水道
- 水道メーター器取替その2工事
1,474,000円(1,540,000円)
増井電機商会
- 55年泉源深井戸ポンプ取替工事
4,620,000円(4,636,500円)
(有)堀口水道
- 町道関内蟠溪線仮設信号機等設置工
2,354,000円(2,453,000円)
壮建興業(株)

けにリフトの近くに建てられたものだが、暖房経費が高むことから閉鎖していた。現在、スキー客及びキャンプ客は、ほっとピアザのトイレを利用しているが、夜間は、ほっとピアザの係員がいなくなり、防犯・管理上支障があることから、夏季の夜間は、ほっとピアザを閉めて屋外トイレを利用してもらうこととした。冬季については、これまでどおり屋外トイレは閉鎖し、ほっとピアザのトイレを利用してもらう。

林道維持補修経費

219万1千円追加

質疑

今回の補正に係る林道修繕等の具体的内容は、

答弁

林道駒別線の駒別橋近辺において、昨年度の大雪、融雪によって路面の損傷が大きくなっており補修が必要となっている。

質疑

本年度の予算審査の際、当初予算が昨年度より130万円減額となったことを懸念していたが、砂利道は、ある程度予算を確保し、継続的な補修等が必要なので、当初予算の見込みが甘かったのではないか。

答弁

予算審査でのご指摘は承知しており、砂利道の特性を十分考慮した上で、継続的な維持補修ができるよう予算措置をしていきたい。

西胆振行政事務組合消防負担金

20万円追加

質疑

本年度、壮瞥消防団に新規に5名が加入したとのことだが、現在の団員の総数をお聞きたい。

答弁

本年5月1日現在で、57名の団員数となっている。

アウトドア推進支援事業委託料

160万円追加

質疑

委託業務の具体的内容について。

答弁

スポーツによる地域活性化推進事業で、昨年度に引き続き、数々のアウトドア事業やスポーツ事業を行っていくが、本年度の核になる事業として人材育成・確保と、昨年策定した事業計画の改訂を予定している。

意見書

・森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書
1件の意見書を採択しました。

【壮瞥町のより良い教育を求めて】

Q 一貫教育推進の取り組みは

A 壮瞥型一貫教育を推進する



佐藤 惇

議員

小中一貫教育推進のために、より連携を充実するため、「小学校から中学校の9年間を見通した目標や教育課程編成」の内容は。

生涯学習課長

充実。

従来から進めてきた小中連携教育の具体的取り組みは。

議員

生涯学習課長

平成24年度から教育執行方針に連携教育を位置づけ、英語教諭による乗り入れ授業や授業参観などの交流、学校行事、小中合同研修会による交流。

命の大切さ、異年齢交流を目的に保・小・中・高間の様々な交流を推進してきた。

議員

小中一貫教育に取り組む時の良い点（メリット）と、あまり良くない点（デメリット）があれば、どのようなことが考えられるか。

生涯学習課長

良い点

- ・小学校から中学校への接続がスムーズに行われる。
- ・不登校の減少や特別支援教育の

充実。

地域との連携、小学校時に学習の定着不足内容を中学校課程で補足できる。

あまり良くない点

- ・小学校と中学校の節目がなくなり、新たな気持ちの切り替えや進学の充実感が薄れる可能性。
- ・小学校と中学校の組織、文化、習慣の違いとその調整に時間がかかる、などがある。

議員

教育委員会は、小中一貫教育を教育の中核とする執行方針に位置づけたが、教育委員の共通理解のための取り組みの経緯は。

生涯学習課長

平成24年度執行方針に位置づけ教育委員と議論を重ね、中学校整備に係る議論の中でも、小学校に隣接した校舎の配置などの協議の中でも議論を重ね共通理解を図っている。

Q いじめの根絶方策は

A 組織的な取り組みで早期解決

議員

いじめの根絶、不登校ゼロの実現のため、校内体制の充実強化を図るため、学校と連携して組織的な対応が示されているが、いじめの重大事態に対応する取り組み状況は。

教育長

重大事態発生後の調査組織の設

置を進めている。重大事態発生後の取り組みは近隣市町に事例はあるが、平時における設置は事例が少なく、さらに情報を収集し、引き続き進めたい。

議員

教育行政執行方針に「いじめの根絶・不登校ゼロ」が示されているが、現状は。

生涯学習課長

平成28年3月に「壮瞥町いじめ防止基本方針」を策定し、いじめの未然防止に取り組んでいる。いじめの調査で認知件数はあるが、全て解決しており、学校による組織的な取り組みの成果と考えている。

今後も学校と連携して、いじめ根絶、早期発見・早期解決に努める。



壮瞥バドミントンジュニア
室蘭地区予選会 5選手入賞

〔成年年齢引き下げに対する教育現場の対応は〕

Q 改正消費者契約法等に
ついての教育は？

A 実践的な消費者教育の実施が
重要と考えている



毛利 爾

〔生涯学習課長〕

事前に学校・生徒・父母との話し合いの場を設けるなど、適切な対応を取っていききたい。

〔議員〕

校長の退学許可の際に、保護者等の同意を要すると校則などで定めては。

〔生涯学習課長〕

意見を参考に検討を進めたい。

ていく。



自治会長会議の様子

〔教育長〕

今回の改正により以前と変わった点、変わらない点をお教えください。

18歳に達すると親の同意を得なくても自分の意思でクレジットカードや高額な商品の購入、ローン

を組むなど、法律上は様々な契約を行えるようになる等があります。

一方で、飲酒や喫煙、競輪・競馬等の公営競技の投票権購入はこれまで同様に20歳となっています。

〔議員〕

高校3年生になると、成年と未成年が混在しますが、校則や各種文書等は今後どのように表記されるのでしょうか。

〔議員〕

学校教育法は親権者を保護者と定義しているが、成年高校生は親権者がなくなるので、保護者等・父母等の定義について、保護者であつた者を含む等の補足文書を追記する必要があるとの指摘があるが。

〔生涯学習課長〕

今後変更を検討して行きたい。

〔議員〕

生徒が親の同意を得ずに退学届を出した場合の対応は。

〔議員〕

今回の改正消費者契約法において、合理的判断ができない状況下で結んだ契約を取り消せる条文が表記されましたが、内容は。

〔生涯学習課長〕

慎重に検討する余裕がないまま契約をした場合クーリングオフ制度を活用できる。また、消費者が誤解して契約してしまった場合等があります。教育委員会としては、学校の授業の中で消費者の権利と責任を自覚して、トラブルに巻き込まれないよう消費者教育を行う

〔議員〕

当町では無料の法律相談を行っており、専門家の出張授業を考えられては。

〔生涯学習課長〕

今年度は伊達警察署の協力を得て行っていくが、学校とも相談し検討して行きたい。

委員会レポート



総務・経済合同常任委員会では5月11日から13日まで、道内先進地事例等の視察調査を実施いたしました。その概要について報告します。

総務・経済 合同常任委員会調査報告

追分中学校整備事業の取組

道内先進地事例視察として、11日は、中学校校舎新築に関する事例を学ぶため、安平町立追分中学校を視察しました。

安平町の人口は7,375人(令和4年6月末)で、一般会計予算は98億459万4千円(令和4年度当初)



追分中学校視察

です。

平成24年に供用開始された校舎は、鉄筋コンクリート造の2階建てで、校舎の延べ床面積は2,141㎡、屋内運動場993㎡で、建設費は校舎が4億9,823万円、屋内運動場が2億7,347万円、太陽光発電設備が1,260万円です。

耐震性能の強化やバリアフリー化、オール電化のほか、エレベーターや多目的トイレが設置され、また、災害時の避難場所として使用できるよう、屋内運動場にトイレとシャワールームが設置されており、家庭科室を緊急の炊き出し場として使用できるようにしています。

校舎の中央は、吹き抜けの多目的ホールがあり、町民に開放しているとのこと。防犯対策では、電気錠の設置や通学路を良く見通せる職員室の配置等の工夫がなされています。

現在の全校生徒数は60名程度で、通学のためのスクールバスの運行のほか、小中一貫教育に取り組んでいるとのこと。

一方、老朽化した町立早来中学校

については、義務教育学校として運営する早来学園を建設中で、令和5年4月の開校を予定しています。



追分中学校体育館の様子

比布中学校整備事業の取組

13日は、比布町立比布中学校を視察しました。

比布町の人口は3,511人(令和4年6月末)で、一般会計予算は37億5,400万円(令和4年度当初)です。平成30年8月に供用開始された校舎は、鉄筋コンクリート造3階



比布中学校視察

建てで、延べ床面積3,849㎡、建設費は11億8,195万円です。比布町では、平成26年度に北海道教育委員会から「小中連携、一貫教育実践事業」のモデル指定を受け、8年間の研究実践を積み重ねてきました。

比布中学校の旧校舎は老朽化のため建替えが必要だったことから、比布町立中央小学校の隣に新校舎を建築し、義務教育9年間の系統性、連続性を踏まえた一貫性のある教育活動を推進し、令和4年度からは中央

小学校と比布中学校を義務教育学校「比布中央学校」としてスタートしています。

中学校の校舎は小学校の校舎と渡り廊下で接続されており、また、体育館は小学校と共用していますが、武道の授業に対応するため、新たに武道館が建てられています。

中学校校舎では、普通教室や図書室等を3階に配置し、職員室や校長室、保健室、会議室等を2階に配置、音楽室や理科室、技術室等を1階に配置しています。

3階の図書室は、見通しの良いオープンスペースとなっており、また、給食調理室は、小学校に設置されていますが、地元の食材を多く使用した給食は、子どもたちに好評とのこと。



比布中学校 授業の様子

とです。

新校舎の課題としては、義務教育学校として運営していくには、職員室が手狭であるため、今後、増設等を検討中とのことでした。

美瑛町の移住定住の取組

丘の町として有名な美瑛町の移住定住の取り組みを視察しました。

人口減少時代に合って、小規模自治体ほど、人口減少問題は、深刻度を増しています。

視察先の美瑛町の人口は、9,609人(令和4年3月末)、ピーク時には2万2,391人でしたが、令和元年に1万人割れしたとのこと。

そんな中、令和2年度から移住定住の専門部署を設置して、各事業の推進強化を図りながら、先駆的な取り組みも行っている。

その中の一つとして、

「セカンドホームツーリズム事業」

移住や二地域居住を検討している方を対象に、「ちよこつと暮らし」を体験する住宅として、大小6棟を整備、利用期間は1か月から最長1年間で、本年度はほぼ埋まっているとのこと。

他にも住宅支援策として、

「定住促進住宅管理事業」



セカンドホームツーリズム事業
「セカンドホームびえい」視察

定住準備の3年間を上限に元教員住宅等を活用して、安価(2万〜4万円)な家賃住宅15棟を設置。

「移住定住促進民間賃貸住宅家賃助成事業」

登録民間賃貸住宅に入居した転入者を対象に月額1万円分のBeコイン(地域通貨)で助成、さらに18歳以下の子育て世帯にはプラス1万円分のBeコインで助成。

定住支援策として、

「定住住宅取得助成事業」

住宅を取得した際に取得額の一部を助成、取得額の10%、新築上限50万円、中古住宅上限30万円、加算として、転入者加算20万円、子育て加

算10万円、町内業者加算50万円、地域材使用加算30万円(認証材の場合は最大100万円)の助成。

「移住定住促進協議会」

移住者と町民の交流を図り、地域全体で移住希望者や移住者を迎える体制を整えるため、令和3年4月に協議会を設立。全国各地から美瑛町へ移住した方や地元町民を含めた、66名の会員が登録されている。

また、移住体験ツアーの実施、セカンドホームや定住促進住宅入居者との交流などの取り組みも実施している。

「奨学金返還支援事業」

30歳以下の若い方の定住目的に最長10年、月額1万5千円(地元高校卒業者は2万円)の返還金の補助を行っている。

その他にも就農支援や起業支援、テレワーク推進事業として関係人口の取り組みも行っている。

以上、今回の視察の主なものについてご報告いたします。

視察を受け入れていただいた町の皆様に感謝申し上げます。

薫風

『空き家相談窓口』開設しました

壮瞥町地域おこし協力隊 水野 有加



【移住のきっかけ】

「経済的にも生活も小さくまとめて、それでも豊かなに生きる」をうしたらよいか分からないと悩まれている方が多いです。

テーマに今後の人生を思い描いた時、移住を考えるようになりました。近隣に湖・川・山・海・温泉・豊かな食が揃う場所、全て揃ったのが壮瞥町でした。

夢のような魅力的な場所です。令和4年4月に移住しました。

【現在の取り組み】

4月に「空き家コーディネーター」として着任しました。町内には様々な場所に空き家があります。所有者の方にお話を伺って、何を

うしたらよいか分からないと悩まれている方が多いです。

空き家になってしまう理由は多岐にわたります。何が問題で、どう解決したらよいかを、できる限り1か所で解決できるように【空き家相談窓口】を開設しました。

相続や修繕、不用品の処分、売却や賃貸等、解決方法を丁寧に提案できるように策を練っています。

大切なお住まいを、住む方のライフスタイルに合わせた活用のご提案や、壮瞥町に移住したいと望まれている方に紹介したり、消えてしまった灯りを一つでも多く再び灯したいと思っています。

また、空き家だけでなく、仕事と教育を加えた3つのテーマを基に、壮瞥町がいつまでも魅力的で持続可能な町になるような取り組みができないか、

そのための課題や、何が必要なのか、町の皆様からお話を伺い、実現可能にする為に努力していきたいと考えています。

【将来の夢】

移住のきっかけでもある「経済的にも生活も小さくまとめて、それでも豊かに生きられる新しい生活」を追及していきたいと考えています。

住居はDIYで10畳くらいの小さな家（タイニーハウス）、必要最低限の空気入りの家具や雑貨に囲まれ、温泉熱を活用した自家栽培の野菜や果物を食し、持続可能な生活を送るのが理想です。

大好きな壮瞥町の豊かな自然を満喫しながら、のんびり暮らしたいと考えています。

この生活が将来実現した時には、こんな生活しています！と情報発信し、共感して貰える仲間を集って欲しいと思っています。

壮瞥町で過ごす魅力的な時間を、共感とともに共有できたらどんなに素晴らしいかと想像しただけでわくわくしています。

編集後記

今から約三年前、全世界で初めて猛威を振った新型コロナウイルス。世界各国でコロナ対策が講じられました。日本でも三密回避が定着し、マスクが当たり前の日常、大人数での集まり禁止、人に会う時は一定の距離を取る、大声を出さずに会話をする、不要不急の外出の制限、定期的なワクチン接種、コロナ前では想像もつかないような体験をしました。

今年に入り二年振りとなる行動制限のない生活を取り戻しつつあります。

各地ではコロナ前の状況に少しでも戻せるよう規模を縮小、人数制限等、様々な感染対策をいくつか、各種イベントも再開しております。

しかし、心も体もコロナ禍の環境に慣れてしまっ、なかなか以前のよ様な生活習慣に戻るのが大変だと感じている人も多いと思います。

コロナと共に未来に進んでいく日々、当たり前の日常になるには、この先どの位かかるかわかりません。環境の変化に対応する力を付けながら考え、行動をし、人として進化していかなければならないと考え、今日この頃です。

(Y.Y)